

全国偶蹄類の家畜市場の閉鎖期間、2週間の延長
—3月27日～4月23日まで閉鎖して清掃や防疫実態点検、畜産車両ウイルス検査—

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxNzMwMyUyRmFydGNsVmllidy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12cmdzRW5kZGVtdHIIMQIMjZiYnNpcGVuV3JkU2VxJTNEJT12cmdzQmduZGVtdHIIMQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IMQIMjZyb3cIMQxMCUyNmllzVmllid01pbmUIMORmYWxzZSUyNnBhZ2UIMQxJT12c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳などに基づく仮訳）

- 農林畜産食品部（以下、「農食品部」）は、金浦市における口蹄疫発生（3月26日）による「全国偶蹄類の家畜市場の閉鎖期間」を、当初3月27日から4月9日までとしていたところ、4月23日までに2週間（14日）延長して、家畜市場の清掃と一斉点検を実施すると発表した。
 - ※（期間）当初：3月27日（火）～4月9日（月）（計2週間）→延長：3月27日（火）～4月23日（月）（計4週間）
- 今回の措置は、金浦地域内の牛で過去3月27日と4月3日に口蹄疫の感染抗体（NSP抗体、6件）が検出された（注：詳細を韓国当局に確認中）こと、最近いくつかの家畜市場での消毒実施不十分事例が指摘されたこと、4月末に完了予定の全国豚のA型口蹄疫ワクチン接種の推進状況などを勘案して下した決定である。
- 閉鎖期間中、農協保有消毒車を動員して、全国の家畜市場86カ所の内外と進入路、係留施設などの清掃と一斉消毒を実施し、調査班（検疫本部、自治体、農協）は、消毒設備が適正に設置されているかどうかなどの現場防疫実態を点検する。
- また、農食品部は、全国の拠点消毒施設及びと畜場などの畜産施設で畜産車両の消毒が適切に行われているかどうかを確認するために、4月9日から車両のタイヤ、内部運転席と足場マットなどに付着した残存物について口蹄疫抗原（ウイルス）検査を実施する計画だと明らかにした。
 - これは、過去に畜産車両（糞便など）などによる口蹄疫伝播事例を踏まえた先制的な措置として、適切な消毒の実施を誘導するとともに、事前に危険性を可能な限り減らそうということである。
- 併せて、農食品部の関係者は、口蹄疫ウイルスの潜伏期間（最大14日）を考えると、口蹄疫拡散防止のためには、家畜集合施設（家畜市場）での接触を最小限に抑え、畜産車両などの入念な消毒の実施が重要であると強調し、畜産関係者の積極的な協力を要請した。